

愛知県	宮城県	埼玉県
豊田市 西岡 道	仙台市宮城野区 伊藤清子	さいたま市西区 藤本真二
岩手県	仙台市青葉区 牧野あかり	
盛岡市 齋藤 真也	仙台市泉区 大泉光弘	

※クレジットカードや寄付サイトを通じて寄付された場合、決済日とあいの実への入金日の間に期間があります。この名簿は入金日を基準としています。

児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護 (重症心身障害児・者対象)

サービス
医療的なニーズに対応！
持っている感覚を刺激する体験型サービスを提供いたします。
また、将来を見据えた自立へのステップの場とします。

無料入浴サービス
入浴のサービスをご希望により利用できます。負担の大きい入浴はおまかせください。



送迎
学校または自宅から施設、施設から自宅への送迎サービスがあります。
(未就学児は保護者による送迎をお願いします)

スタッフ
安全で安心なサービスを提供できるようスタッフを配置。介護のプロフェッショナルがサービスを行っています。
スタッフは定期的な研修を受け、常にスキルアップしています。



訪問介護

ALS・難病支援
コミュニケーション支援、たん吸引や経管栄養等の医療的ケア、深夜の介護など、難病を抱える方たちがどうしても必要とするサービスを行っています。男性スタッフも多数在籍しています。
もちろん高齢の方の介護も対応しています。

移動支援
また、障がい児や障がい者が外出できるよう移動支援も行い、社会参加のお手伝いをさせていただきます。

ケアプラン

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ケアマネジャーが、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じたケアプランを作成します。
そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行います。
介護のことがよくわからないという方はまずお問い合わせください。

Fruit Farm

フルーツファームがもっと欲しい方はあいの実事務所までご連絡ください。必要部数等をお知らせいただければ無料で送付いたします。
また、店頭や公共の場所に置いてくださる方も募集しています。
私たちの活動を広く知らせていただくことも大きな支援となります。



助成・支援情報



大塚商会ハートフル基金より「スキルアップにつながる研修会」のための助成が決定しました！あいの実では専門家の方や医師による研修を定期的に行っていますが、今回「大塚商会ハートフル基金」様より「スキルアップにつながる研修会」のための費用の一部を助成していただくことになりました！ありがとうございました！

ご支援のお願い

重い障がいを持っている方たちと家族の支援が緊急に必要とされています。
しかし、行政の財政補助は限られています。あいの実が支援活動を続けていくために皆様からのご支援を本当に必要としています。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申込みの場合
個人年会費(一口 3,000円)
団体年会費(一口10,000円)
どちらかを選択してください。
賛助会員ステッカーを差し上げます。

○ご寄付をお申込みの場合
ご自由に金額決めてお振込みいただけます。

●各種お振込先のご案内
振込みはゆうちょ銀行の専用口座、または銀行口座へお願いいたします。(誠に恐れ入りますが、手数料は別途ご負担願います)

[ゆうちょ銀行からの振込み]
口座番号：02210-5-0140782
口座名：特定非営利活動法人あいの実

[ゆうちょ銀行以外からの振込み]
銀行名：七十七銀行
支店名：泉パークタウン支店
預金科目：普通
口座名義：NPOあいの実 理事長 乾 祐子
口座番号：5360757

[オンライン寄付]
あいの実ウェブサイト(<http://ainomi.com>)よりクレジットカードで行うことができます。利用できるカードはVISAカードとMasterカードです。



Question
▶ NPO法人は大勢の方の賛同や支援によって運営されています。賛助会員とは、わたしたちの活動に賛同してくださる方たちのことです。そして、NPOあいの実の活動を多くの方に広めていただく広報係としての役割があります。賛助会員になられた方には賛助会員ステッカーを差し上げます。お好きな場所に貼ってわたしたちの活動を宣伝していただければと思います。



常勤・パート職員を
随時募集しています！

訪問介護

看護師・介護福祉士・ヘルパー等

風通しの良い職場で確かなスキルを身につけることができます。やりがいのある仕事を求めておられる方はもちろん、キャリアアップのために、またご家族の生活を支えるために働けます。
介護未経験者&ブランク有の方大歓迎！

障がい児(者)通所

看護職員・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・保育士・ヘルパー等

小児介護の分野はまだ人材不足。新たな分野にチャレンジして下さる方を広く募集しています。経験豊富なスタッフの研修を受けた上で就業ですので安心して働けます。

詳しくはホームページへ
<http://ainomi.com>

Fruit Farm

あいの実情報通信誌 [フルーツファーム]

Vol.12

2019秋号



NPOあいの実

人からしてほしいと思う通りに
人にもする
Golden Rule

あいの実 理事長の乾祐子です
〇〇〇寄付のお願い

■ あいの実勉強会の様子
■ ありがとう！10年以上在籍スタッフ

Fruit Farm

第12号 2019年10月10日発行
<http://ainomi.com>

© 2017 NPOあいの実

Fruit Farm

NPOあいの実

〔編集・発行〕 特定非営利活動法人あいの実
〒981-3217宮城県仙台市泉区美沢字中山北100-2
Tel:022-346-1730/Fax:022-346-1731
Mail:info@ainomi.com/HP:<http://ainomi.com>

UD FONT
by MORISAWA

あいさつ | 理事長の乾祐子です

台

風被害が全国で頻発した夏も終わり、秋がやってきました。秋晴れの日もありますが、まだまだ台風などが来るかもしれない気が抜けません。

重い障がいを抱える方たちにとって停電は命に直結する一大事です。災害による停電のニュースが入るたびにドキッとします。わたしたちが支援するだけでなく、停電に対する二重三重の日頃の備えの必要を改めて実感します。



乾 祐子

NPOあいの実はこれまでスタッフの勉強会に力を入れてきました。毎月欠かさずに開催されています。開催には手間も労力もかかりますが、スタッフのスキルや考え方を訓練していくことはサービスを利用して下さる方たちの安心へとつながっていきます。様々な状況を想定し自ら動けるスタッフを育成するために、今後も教育に力を入れていきたいと思っております。

今回の季刊誌では、直近で行われた一部の勉強会の内容や意義をご紹介します。わたしたちの取り組みがスタッフの自信と利用者様の安心につながることを願っています。

あいの実の勉強会の様子

メンタルヘルス 6月20日

目的:事業者として、またスタッフとして責任をもってサービスを行う義務がわたしたちはあり、わたしたちの心の状態が安定している必要があります。各自が自分のストレスについて理解し、改善するためのスキルを身に着けます。

講師:平泉 拓 氏(東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 臨床心理士・公認心理師)

内容:介護サービスを行うものとして、メンタルヘルスに目を向けるべき理由についてまず学びました。その理由には法律に従う義務といった側面や、わたしたち一人ひとりが気持ちよく仕事を続けていくために必要であることが説明されました。職場や生活環境のストレスでうつ病になってしまうこともあります。元気に仕事をしていくことはとても大切です。具体的にどのようにすればストレスに負けずに仕事を続け、自分も利用者も仕事の仲間も笑顔で働けるかを考えました。

自分では解決できない問題を他の人に打ち明け援助を求めるというスキルを元気なときに身につけることの重要性を学びました。援助を求めるとき、過剰タイプ・回避タイプ・自立タイプの3つに分ける



ご寄付のお願い

わ たしたちの施設には、重い障がいをもつ子どもたちのための銭湯があります。医療的ケアがあっても入浴できる広々として、安全にゆったりとくつろぐことができるお風呂です。

あいの実では、誰もが当たり前のようにできることを皆ができるようになるべきだと考えています。それで、ご家族の負担の多い入浴サービスを行っています。ご家族からはお風呂代を徴収せず、無料のサービスとして行っています。

もちろん、費用はかかります。設備や物品、人件費を考えると一回あたり500円くらいかかります。それで、多くの志のある方々から寄付をいただき、このサービスを無料で維持して行けるようご支援をお願いしております。本誌裏面に情報がありますので御覧ください。

3,000円のご寄付をいただくと...



重い障がいのある子どもを

6回

お風呂に入れることができます



ことができます。自分がどのタイプかを知ることができました。

その後、目隠した人をもうひとりが案内して事業所内を歩くという二人一組のワークを行いました。このワークによって他の人を信頼すること、周りの人がストレスを抱えている人にどう関わられるかを学びました。

まとめ:自分の心の健康を守るためには、他の人を信頼しコミュニケーションをとって積極的に他の人に頼ること、お互いが気遣いを示しあっていくことが皆の心の状態を安定させることがわかり、そのための方法も理解することができました。

人工呼吸器 8月8日

目的:定期開催されている在宅人工呼吸器の勉強会です。高度な知識が必要な呼吸器の仕組みや使い方などを学ぶ定期的な訓練の一環です。新しい機器の最新の機能にもついていく必要があります。命に直結する機器の扱いを自信を持って行えるよう学びます。

講師:株式会社フィリップス・ジャパン

内容:呼吸器の機能の説明、表示の味方、数値の読み方、警報の対処など基本的な機器の扱いを復習しました。利用モードや利用者の状況によってセッティングや数値状況が異なります。一律な考えではなく、個々に対応することが必要です。緊急時にも慌てることなく対処できるよう、事前に情報を十分に把握する重要性を学びました。

まとめ:安全なサービスのため、人工呼吸器の扱い方の復習をし不測の事態にも対応できるよう習熟することができました。



いかがでしたか? あいの実ではこのような勉強会が月に1・2回開催されています。スタッフのスキルはどんどん向上しています!

NPOあいの実について

あいの実は、平成17年に設立された特定非営利活動法人(NPO)です。

「自分にして欲しいと思うことを他の人に行う」を理念に、性別、年齢、人種、境遇、住む地域、障がいの種別などが異なるすべての人が、互いに自立し、人間性豊かに生活を営める社会の創造に寄与することを目的としています。常に新しいことにチャレンジし、地域の福祉に貢献するパイオニアでありたいと思っています。

訪問介護事業所としてスタートし、ALS(筋萎縮性側索硬化症)等の難病支援を中心に活動してきました。難しい介護である医療的ケアに積極的に取り組んでいます。たん吸引ができるヘルパー研修事業を行い、延べ50人以上のたん吸引ができるヘルパーを育成してきました。

訪問介護を通じて、重い障がいを持つ子どもたちとも接するようになりました。そして、そうした子どもや家族が国の支援制度から漏れていることに気づき、得意分野を生かした、医療的なケアが必要な乳幼児・児童に特化したサービス、子どもたちが大人になったときの行き場である生活介護を運営しています。

勉強会の記録 (敬称略)

- 7月26日(金)認知症 話す犬を放す(DVD視聴) NPOあいの実 甚野まつ子/荒井千代子
- 8月8日(木)呼吸器 フィリップス
- 9月20日(金)危険予知トレーニング NPOあいの実 甚野まつ子/荒井千代子



ありがとう! 10年以上在籍スタッフ

あいの実に10年以上在籍しているスタッフを紹介していきます。長年に渡ってNPOあいの実を支えて下さる大切なメンバーです。これからもどうぞよろしくお願いいたします! 今回ご紹介するスタッフもあいの実発足以来の最古参のメンバー。まさに、あいの実の歴史の証人とも言える方々です。

渡辺香代子さん
スタッフ登録:2008年11月5日



10年というヘルパーとしての歩みを振り返って見ますと、新人の頃同行させて頂いたヘルパーさんの手技の鮮やかさに感動したり、失敗してヘルパーとしての仕事は合わないのではないかと思悩んだことを思い出します。10年行っても経験は少なく、ヘルパーとしての仕事の奥の深さを実感しているところです。これからも、心技共にスキルアップを目指して行けたらと思います。

甚野まつ子さん
スタッフ登録:2009年3月9日



専業主婦からのヘルパーの仕事、あいの実は2ヶ所目の登録事業所で不安も大きかったですが、気がつけば10年、今までで一番長く続けてこれた仕事になりました。つたないところを励まし、辛抱して下さった方に感謝です。